



日本選手の各種目のトップを決める大会が沼津で開催されます。脇田樹魅選手、鈴木穂波選手も出場予定！観戦者には、ルールを解説したガイドブックをプレゼントします。

パリオリンピックでメダル獲得を期待される歴代最強と名高いトップ選手たちの迫力ある試合をお楽しみください。

予選

種目	とき	時間
女子フルーレ、女子エペ	9月15日(金)	10:00から
男子フルーレ、女子サーブル	9月16日(土)	10:00から
男子エペ、男子サーブル	9月17日(日)	10:00から

※予選にはチケットは不要です。当日、直接会場へどうぞ。

準決勝・決勝

予選を勝ち抜いたトップフェンサーが、香陵アリーナで日本一の座を争います。

とき 9月18日(祝) (準決勝・決勝)、10時から

ところ 香陵アリーナ(総合体育館)

入場料 S席(アリーナ席・指定)=5,500円

A席(スタンド席・自由)=2,200円

チケット チケットぴあで販売中

※詳細は、大会公式ホームページをご覧ください。



ホームページ

みんなで応援に行こう 市民無料特別招待

とき 9月18日(祝)、10時~18時(9時開場)

定員 300人(当日先着順)

※席は、A席(スタンド席・自由)です。

※左下の招待券と、沼津市に住んでいることがわかるもの(保険証、免許証、マイナンバーカードなど)をお持ちください。

※無料招待以外の観戦にはチケットが必要です。

フェンシングでまちが輝く

市では、スマートフェンシングの体験会開催、トップフェンサー育成の強化練習会実施など、フェンシングの認知向上や競技人口拡大を図る事業を展開してきました。

このような中、今月開催される全日本フェンシング選手権大会は、国内トップクラスの選手による試合を沼津で観ることが出来る絶好の機会です。迫力ある試合を観に、ぜひ会場へ足を運んでみてください。

スポーツは「楽しむ」ことはもちろん、観たり応援したりと楽しみ方は様々あります。輝く選手の姿をこの沼津で観て、沼津から世界へ羽ばたく選手を応援する。フェンシングを体験してみる。フェンシングを身近に感じ、応援する市民の姿から、沼津を好きになってくれる選手たちが増えたり、フェンシングをきっかけに沼津に来た人たちが沼津のまちの良さを知ってくれるようになる。そのような好循環が、まちをより一層魅力的にしてくれるはずです。

📞 ウィズスポーツ課

055・934・4843

NEXUS Presents 全日本フェンシング選手権大会 市民無料招待券

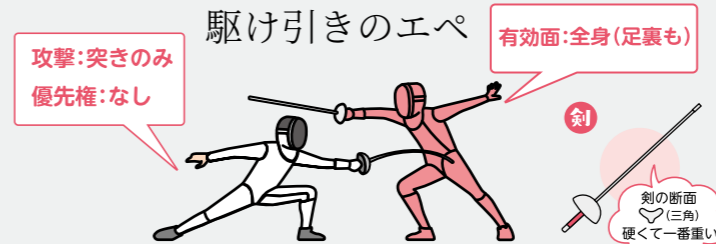
※1枚で家族全員が利用できます。
※コピーしたものはご利用いただけません。



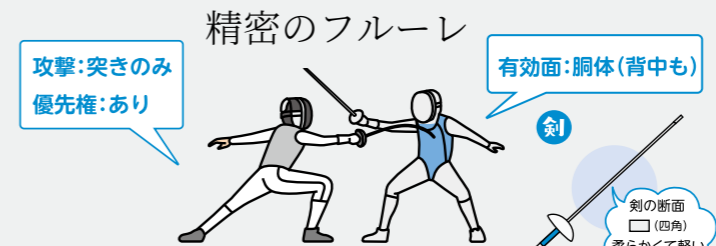
invitation ticket

フェンシングには3つの種目

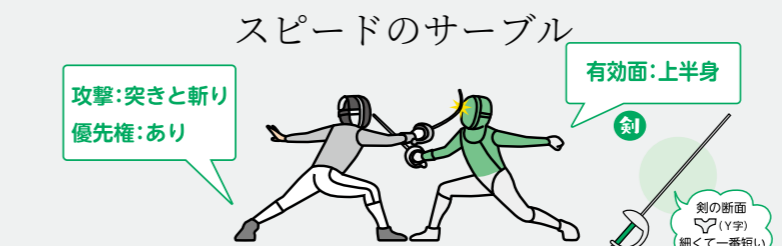
向かい合った相手の体を剣で突くことで勝敗を決めるフェンシングは、突いた方に得点が入る非常にシンプルな競技です。フェンシングには「エペ」「フルーレ」「サーブル」の3種目があり、得点が入る「有効面」の場所や使用する剣までも異なります。3種目のそれぞれのルールを知っておくと、違いを楽しみながら応援できます。



全身が有効面で、先に突いた方に得点が入り、両者が同時に突くとどちらにも得点が入ります。観ていて一番分かりやすい種目です。



有効面は胴体のみ。突く範囲が狭く、正確な剣さばきが必要です。また、ポイントを獲得できる「優先権」を尊重する種目といわれ、先に腕を伸ばし、剣先を相手に向けた方に優先権が生じ、剣を払うなどして優先権を奪います。



有効面は上半身のみ。「突き」に加えて「斬り」が有効な種目で、よりダイナミックな攻防が観られるところが魅力です。

見て楽しむ！
応援して盛り上がる！
フェンシングはどんなところ注目したら楽しいのでしょうか。
試合の観方やルールを、オリンピック2大会に出場し、日本代表コーチを務めた経験もある市職員 長良将司さんに聞きました。



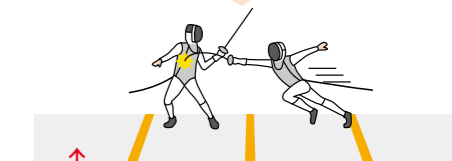
コレさえ覚えておけば応援も楽しい！

01. 緊張の一瞬。試合開始



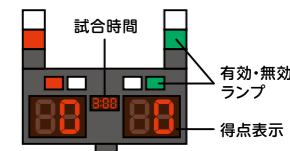
審判の掛け声とともに試合が始まります。フェンシング用語は主にフランス語です。

02. 固唾をのんで見守る攻防



ピストと呼ばれるコートの中で、手に汗握る攻防が繰り広げられます。この間は観客も静かに剣先を目で追ってみましょう。

03. ポイントがキマったら大きな歓声を！



相手の有効面に攻撃が当たると得点になり、個人戦は予選5ポイント・決勝15ポイント、団体戦は45ポイント先取で勝利です。有効面を突いたかを判定するのはピストの中央にある「電気審判器」。赤か緑のランプが点灯したら有効です！

04. 勝敗が決したら 騎士の精神で相手も称えましょう

試合後はサリュウという挨拶で締めくくり。選手同士だけでなく応援する人も選手の健闘を称えましょう。

